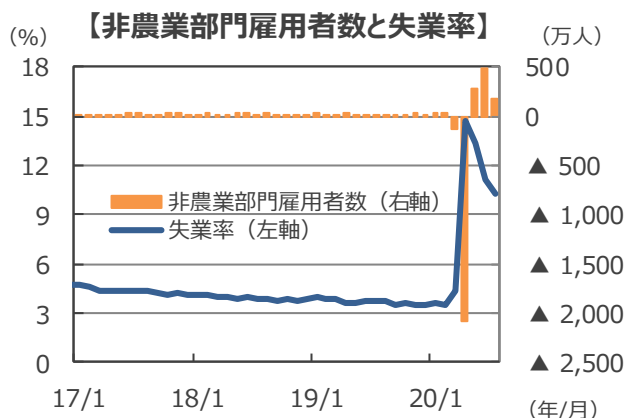




今日のトピック **米雇用統計は緩やかながらも3カ月連続の改善
新型コロナ感染状況と追加経済対策に注目**

**ポイント1 米雇用者数は176万人増加
失業率は0.9ポイント改善し10.2%**

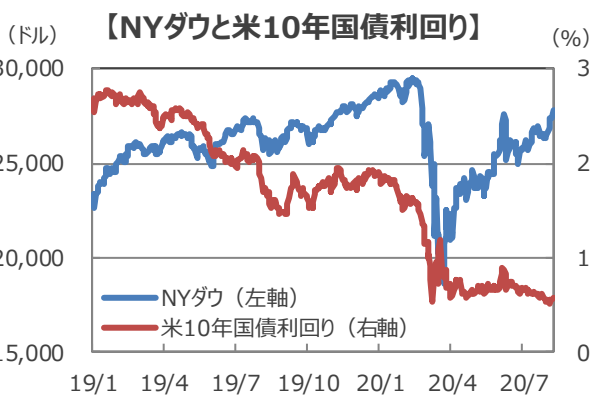
- 米労働省が8月7日に発表した20年7月の雇用統計は、非農業部門雇用者数が前月比176万人増と、前月の479万人増から鈍化したものの、3カ月連続の改善となり、事前の市場予想148万人増も上回りました。新型コロナの感染再拡大でやや回復ペースが鈍化したものの、大きく落ち込んだ雇用環境の改善が継続していることを確認する結果となりました。
- 7月の失業率は10.2%と前月の11.1%から0.9ポイント低下し、市場予想（10.6%）以上の改善となりました。



(注) データは2017年1月～2020年7月。
(出所) Bloomberg L.P.のデータを基に三井住友DSアセットマネジメント作成

**ポイント2 新型コロナ感染再拡大の中、
まずまずの結果**

- 7月の非農業部門雇用者数は、公的部門に国勢調査のための人員が計上されるなどの特殊要因が入っており、若干高めに出ているものの、南・西部を中心に新型コロナの感染再拡大により、経済活動が鈍った時期であることを踏まえるとまずまずの結果と言えます。但し、順調に改善してきた建設業や製造業の改善が小幅にとどまっていることから、今後、新型コロナの感染再拡大の影響を見守る必要があります。



(注) データは2019年1月1日～2020年8月10日。
(出所) Bloomberg L.P.のデータを基に三井住友DSアセットマネジメント作成

今後の展開 感染状況と追加経済対策を見つつ、ワクチン開発を待つ展開

- 雇用統計を受け、7日の米国株式市場は、ダウ工業株30種平均が前日比47ドル高の2万7,433ドルと小幅値上がりしましたが、ナスダック総合指数は前日比97ポイント下落とまちまちな動きとなりました。10年物国債利回りは0.03%上昇（価格は下落）し、円ドルレートは37銭円安・ドル高となりました。
- 雇用統計の改善に加え、4-6月の企業業績は事前予想を上回っており、株式市場の堅調さを支える材料となっています。新型コロナの感染が落ち着いて経済活動が正常に向かうか、期限切れになる新型コロナ対策の延長を含む追加の経済対策が適切に行われるか等に、引き続き注意が必要です。

ここもチェック! 2020年8月 6日 4-6月期の日米企業業績は前年同期比大幅減益
2020年7月30日 FRBは積極的な金融緩和策を維持

■当資料は、情報提供を目的として、三井住友DSアセットマネジメントが作成したものです。特定の投資信託、生命保険、株式、債券等の売買を推奨・勧誘するものではありません。■当資料に基づいて取られた投資行動の結果については、当社は責任を負いません。■当資料の内容は作成基準日現在のものであり、将来予告なく変更されることがあります。■当資料に市場環境等についてのデータ・分析等が含まれる場合、それらは過去の実績及び将来の予想であり、今後の市場環境等を保証するものではありません。■当資料は当社が信頼性が高いと判断した情報等に基づき作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。■当資料にインデックス・統計資料等が記載される場合、それらの知的所有権その他の一切の権利は、その発行者および許諾者に帰属します。■当資料に掲載されている写真がある場合、写真はイメージであり、本文とは関係ない場合があります。